

**答** (市民協働部長)・かしわ台連絡所では図書館の取次業務を行い、好評を得ています。今後の連絡所の見直しについては、「社会保障・税番号制度」の導入後の状況を見て判断したいと考えています。

## ・釣り掘りの試行期間と今後について



## ・省エネルギー対策について

- ・海老名の未来像とマーケティングについて
- ・投票率向上について

- ・海老名の未来像とマーケティング

## その他の質問

- ・子ども11番の実施状況及び子どもの安全・安心の取組み全般について
- ・国際交流について

答（市民協働部長）：2つの連絡所は市役所から遠く、利便性を考慮し設置しました。10月には3つ目の連絡所として、海老名駅東口に「えび」にやハウス（海老名市役所海老名駅連絡所）がオープンします。利用時間は午前10時から午後8時まで、また土休日も開所予定で多くの方の利用を期待しています。

（かしわ台は午後7時）まで、また年間240日開所しておりますが、市役所での対応よりも運営費用が高額となってはいませんか。また、両連絡所の利用時間の拡大などの見直しを行う考えがあるか伺います。

10月には、海老名駅東口に新たな市役所連絡所と曰石市・登別市の物品販売所の設置を予定していますが、この連絡所の扱いは既存の連絡所と同じなのか伺います。

市役所連絡所の  
運営見直しを  
市政改革の会 飯田 英榮



## 市の高齢者対策は 公明党 三澤 喜

公明党 戸澤 幸雄

本年5月に医療・介護の関係者による「海老名市在宅医療介護連携協議会」を立ち上げ、さまざまな検討とネットワークづくりを進めております。また、高齢化率の高いさつき町をモデル地区として、住民一人ひとりが、これらの医療や介護に対する考え方を自助・互助として認識するための取り組みを含め、地域での検証を実施しております。今後も、それぞれの課題を把握しながら福祉・生活支援サービス体制の構築に向け進めてまいります。

護・在宅医療を含めた、地域包括ケアシステムの構築が含まれると聞いておりますが、市の取り組みと考えを伺います。

答（市長）：地域包括ケアシステムは、高齢者が自立した生活ができる限り住み慣れた地域で続けていくための仕組みであり、特に医療と介護に関してはその根幹をなすものと認識しています。

**答** (教育長)：現在の教育は学校と地域があつてあるというデータも出ている中、以前から提案している教育格差の是正に向け、放課後に学習面の補助事業を合わせて実施すべきと考えますが、市の見解を伺います。

両輪で子供達を支えなくてはなりません。今後、土曜学習の実施に向け、検討してまいります。現在、放課後に実施中の「あそびっ子クラブ」は社会教育面がありますが、27年度からは学習面を備えた事業も放課後に実施したいと考えています。

25年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ても、「土曜日何をして過ごすか」の問いに21・9%の児童が「家でテレビやDVDを見たり、ゲームをしたりしている」と答えています。今後、土曜日は学校授業ではなく希望者を対象に土曜学習を実施すべきと考えます。

また、家庭の経済力が子供の学力に影響するらしい。フジロー、いわく、人間の

のなかで「しあわせ」は生きるために必要な力を身につけてほしいという願いから策定したもので、現在、「授業改善の手引き作成委員会」、「人間関係づくり学習計画作成委員会」、「学校経営の在り方研究会」、「海老名型「ミニティスクール」の在り方検討委員会」の5つの委員会、研究会を設置し、月1回程度それぞれの目標を達成するためには作業や協議を進めています。今後、取り組み状況について、保護者や地域の方々に説明し

今年度から具体的な取り組みについて進められていくとのことです、プランの中に掲げられているいくつかの取り組みについて、現在の具体的な進捗状況について伺います。

問 人口減少時代における、将来を担う子供達の健やかな成長のためには、学校だけ

未来を担う「えびなっ子」には、学力や正しい生活習慣を身に付けてもらいたいと願っています。市では「えびなっ子」あわせプランを策定し、大いに期待するところであります。支援をさせて頂きたいと思っています。

「えびなつ子しあわせ  
プラン」の進捗は  
志政会 宇田川 希



志政会 永井 浩介

志政会  
宇田川  
希